

第1回 i-Construction 委員会 議事録より抜粋

① 全体プロセスを広く統合

- ・施工の前というのは設計のプロセスであり、あるいは、もっと前と言うと調査の段階のプロセスがあり、そこからどういうふうに施工を改善できるかという可能性を考えることで、幅はずっと広がります。
- ・情報化技術を活用したいろんなデータベースなり、それを活用するシステムができていれば、メンテナンスのところの効率化もずっと楽に実現できるということが期待されています。
- ・一連の施工の中で部分的にこれまで人が行っていたようなところをICTに置きかえても、なかなか効果が発揮できない。それは結局、ICTが持っているポテンシャルを十分生かし切れてないということかもしれません。

② 人と機械の役割を踏まえて全体最適化

- ・情報技術を活用することでプロセスを効率化するということ以上に、そういう情報技術を活用することで、人間のアイデア、新しい知恵を、そういう新しい価値を生み出すようなところに人間が時間を使うと。これによって得られる効果というのは同じぐらい大事だと、あるいはその効果が大きい。
- ・何でもかんでもICTに置きかえるということではなくて、人がやったほうが有利なところはもちろん人がやったほうがいいですし、機械がやったほうが圧倒的に有利なところは機械がやるということ。

③ 新しい技術が出てくる中でどのように進めて行くか

- ・今はまさにイノベーションの大変な波の中なので、今後、新しいものがどんどん出てくる可能性があります。
- ・新しい材料を使うことで、現場の省人化、施工の合理化も図ることができますが、設計までさかのぼると、もっとその活用効果は広がります。
- ・受験生の4分の1ぐらいが、受検サプリという、アプリケーションサービスを使っています。この裏はAIが動いていまして、これをやるとものすごいデータがたまって、これがどんどん、すごい勢いでAIが発達し、逆にそれが学術研究にフィードバックされるということが起きていて、こういったところはおそらく、今後、建設業でも使えるような技術になるのかなというのが一つです。
- ・ストーリーを国がある意味で決め込んで、その決め込んだ前提でいろんなものをデザインしちゃって、みんながやったころには実は時代おくれになっちゃっている。国としてどういう立ち位置で何をどこまでやればいいのか。むしろ勝手にやらせていることは勝手に走らせちゃったほうがいい部分はいっぱいあります。

④ 異業種や国際的な視点での連携等オープンイノベーションの誘発

- ・オープンイノベーションのエコシステムがつかれるかどうかというのが、もう一つの課題
- ・今、まさにIoT革命が起きようとしている、人によっては第4次産業革命と言っている、大きな変革の波の中でこのテーマが動いている
- ・バリューチェーンの構図が変わる可能性が出てきているわけで、特にこの建設事業というのは非常に大きな影響を受ける産業の一つだと思っている。
- ・同じ政府の中の政策としてIoT推進コンソーシアムができて、そこにこういう新しい技術要素とかチャレンジを持ってきてもらって、それを世の中に知らしめてマッチングしていくというようなプラットフォームをつくらうとしているので、そういったプラットフォームを活用してもらえればいいなと思っています。
- ・財務金融のような人とか、いろんな業種の方が入ってきて、生産性の向上というのを議論しなきゃいけない。そう考えると異業種コンソーシアムで、そこにもう一つ必要なのは国際的なメンバー。
- ・こういう生産性向上の実験を海外でやらせてもらって、逆輸入してくるぐらいのことも一つあっていい。

⑤ ローカルの自治体・企業への対応

- ・ローカルの企業の技術力が低いと受け取られたかも知れません。決してそうではなくて、それをやろうとする意思がなかなか生まれてこないような仕組みになっているということです。
- ・日本のローカルの企業がなかなか ICT を使った新しい施工に入っていないというのは、結局、今の状態ではそれを行っても利益が得られないので、今までのやり方でいいじゃないかということになっているからだろうと思います。
- ・ローカルの自治体をどうサポートしていくのかというバックアップシステムをやはり考えていけないと「絵に描いた餅」で、実現はなかなか難しい。

⑥ 国が実施する役割

- ・国がどこまで何をするのかということ。どういう規格をどのようにするのかということや、国が一体どこまで責任持ってやるのかというのは、大きなことのような気がしますね。
- ・将来に向けて、モデルとなる、リードするような、いいプロセスをまず国から買っていただくというような仕組みをぜひ政策的にも考えていただければというふうに思います。
- ・各企業さんにそういうデジタル化しましょうという努力をお願いしてもなかなか進まなくて、これにしないと審査が通らないというふうになっていかないと難しいのだと思う。
- ・公共事業であるということの制約条件がいろんなところにあるかと思います。